

都市再生整備計画(第3回変更)

さんのうやま やくし じしゅうへん
三王山・薬師寺周辺地区

栃木県 しもつけ 下野市

平成30年1月19日

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	栃木県	市町村名	下野市	地区名	三王山・薬師寺周辺地区 <small>さんのうやま やくしじ</small>	面積	622.6 ha
計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度				

目標
<p>大目標 地域で暮らす人、地域を訪れる人それぞれの活き活きとした交流に賑わうまちづくり</p> <p>目標① 新たな交流人口を生む「学び・憩い・健康」の拠点の形成(魅力ある公園づくり)</p> <p>目標② 地域資源の活用による新たな付加価値の創出(交流の機会づくり)</p> <p>目標③ コミュニティ活動の活性化と地域防災力の向上(地域内相互交流と地域防災のための拠点づくり)</p>

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市は歴史的・文化的にも特色があり、特に天武天皇の白鳳時代に建立された下野薬師寺は天下三戒壇(他に東大寺・筑紫観世音寺)の一つであり、8世紀には聖武天皇の詔により下野国分寺・国分尼寺が建立され、古代東国地方の仏教文化の中心地として栄えた。これらの跡地には公園や伝承施設などの史跡整備を実施し、来街者の誘引と市民の郷土愛の醸成を図っている。 ・三王山地区には「三王山古墳の保全を図る公園」と「市民の健康づくり・憩い・交流の場となる上物施設」の整備を目指すふれあいプラザ構想が検討され、そのうちの「下野市ふれあい館」を整備し、入浴・温水プール・運動・交流の施設として供用している。 ・本地区中央部の新4号国道沿道には平成23年3月26日にオープンした「道の駅しもつけ」があり、休憩・地域物産販売・観光情報提供、体験学習などの施設も整備され、連日多くの利用者で賑わっている。 ・薬師寺地区には国指定史跡下野薬師寺跡が位置しており、地域観光資源の一つであり当該地区の活性化のため、より一層の活用が望まれている。 ・薬師寺地区にある公民館等は老朽化し、地域内交流の希薄化が懸念されており、新たな拠点を整備してコミュニティ活動を活性化させる必要がある。 ・東日本大震災以降、防災に対する意識が高まってきているが、薬師寺地区には市指定避難所が薬師寺小学校体育館1か所のみであるため、防災拠点施設が不足している。また、防災意識を向上させるためには、地域内での相互交流が不可欠である。さらに本地区の公民館や消防器具置場は老朽化し、幹線道路から奥まった場所にあるため、防災等への対応が危惧されている。
課題
<ul style="list-style-type: none"> ・三王山地区に位置するふれあい館は市域東部における市民の健康づくりと憩いと交流のほか、社会福祉協議会やシルバー人材センターが併設されるなど、住民の日常生活に深く関わっている施設である。また、近年、市民の健康づくりに関する意識は高く、その要望を考慮した運動環境の提供を検討する必要がある。温浴施設は夏休みや大型連休時には市外からのアウトドア活動の一部としての利用も多く、地域活性化への検討材料とすることが求められる。 ・「道の駅しもつけ」の整備により、農作物の販売額の増加、新たな雇用の創出などの効果が発現しており、更なる地域振興のためには来街者を地域内に誘導することが求められる。 ・下野薬師寺や下野国分寺・国分尼寺の国指定史跡を有する下野市において、未整備の三王山古墳は都市アイデンティティである“歴史・文化”としての貴重な地域資源であり、その利活用を求める市民要望も多い。ことに下野薬師寺については「奈良唐招提寺の平成の大改修」や「平城遷都1300年事業」を契機に関心を持たれる方の問い合わせも増加していることから、新たな来街者への誘導材料としての展開、学校教育・生涯学習での新たな歴史認識への取り組み、案内ボランティア等の育成が求められる。 ・本市は平坦な地形であり、その中に点在する平地林は都市固有の景観要素であることから、三王山地区の平地林についても自然環境の保全と公園施設の整備の調和を図ることが必要である。 ・薬師寺地区は10自治会で構成されているが、地域住民が交流しコミュニティ活動を行う中心施設がなく、まちづくりを推進するためには、地域住民の相互交流及びコミュニティ活動を支援するため地域交流センターの整備が求められる。 ・薬師寺地区住民のさらなる防災意識向上のためには、地域住民相互交流やコミュニティ活動を通じた取り組みが重要であり、消防団や自主防災組織の育成を図るためにも、拠点となる施設整備が必要である。
将来ビジョン(中長期)
<ul style="list-style-type: none"> ・下野市総合計画(平成20年3月)では、将来像「思いやりと交流で創る 新生文化都市」を目指し、その施策の基本目標として「みんなで学び文化を育むふれあいのまちづくり(生涯学習の充実、文化の振興)」「知恵と意欲で創造性豊かなまちづくり(産業振興、シティセールス)」「都市と田園が共生する快適な環境で躍進するまちづくり(緑地環境の整備)」「安心して暮らせる健康で明るいまちづくり(生涯健康、支えあい)」「豊かな自然と調和した快適で安全なまちづくり(自然環境の保全)」を掲げている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地域来訪者数	人/日	ふれあい館・薬師寺資料館・公園への来訪者数	三王山ふれあい公園整備や道の駅しもつけからの誘導施設整備により地域内への来訪者数が増加する。	175	平成23年度	200	平成29年度
市民愛着度・満足度	%	地域住民への意識調査による地域への愛着度・満足度	市民への教育や生涯学習の機会提供や各種イベント実施により、本市への愛着度・満足度が向上することが期待出来る。	77.3	平成24年度	82	平成29年度
地域交流センター利用者数	人/年	地域交流センターの年間利用者数	各種活動をとおして地域内交流や住民参加によるまちづくりが推進され、地域コミュニティの活性化が図られる。	10,000	平成23年度	10,500	平成29年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針①(魅力ある公園づくり) 三王山ふれあい公園の整備により、公園利用者及びふれあい館・薬師寺資料館等周辺施設への来訪者増加を図り、交流と賑わいの向上を目指す。</p> <p>1)三王山ふれあい公園は古墳と平地林を保全・活用する「古墳ゾーン」、市民や来街者のレクリエーションの場となる「公園ゾーン」を整備し、既に供用している「ふれあい館ゾーン」との機能分担による賑わいの魅力向上を図る。 2)「古墳ゾーン」は、小・中学校等の校外学習、市民の生涯学習の場としても活用するなど、既存の国分寺・国分尼寺跡、下野薬師寺跡との連携により“歴史”のまちづくりを推進する。 3)「公園ゾーン」は市民と来街者が遊び、憩い、交流できる場としても機能できるように、遊具スペース、多目的オープンスペースなどを配置し、ふれあい館ゾーンの温浴施設やプール等の運動施設と合わせた健康づくりも増進する。また、キャンパススペースを設置し、バーベキュー等での地域食材の販売を促進する。</p>	<p>・公園(基幹事業/三王山ふれあい公園)</p>
<p>整備方針②(交流の機会づくり) 地域の歴史・文化・自然などを通じた様々な交流活動の機会を創出することで、市民にとっては誇れる郷土として愛着心の醸成を図り、来街者に対しては地域来訪の楽しみと喜びにより下野ファンとしてリピーターになってもらうことで、持続的な賑わいを目指す。</p> <p>1)下野市の玄関口機能を担っている道の駅しもつけや田川サイクリングロードからの来街者を、三王山ふれあい公園や下野薬師寺跡などへ誘導する案内板等を設置する。 2)三王山ふれあい公園来訪者へ歴史教室、埴輪づくり教室、発掘体験教室、自然体験教室など様々な情報提供や活動支援を行い、多様な地域交流を促進することで付加価値の高い活動機会を提供する。 3)道の駅しもつけやふれあい館・三王山ふれあい公園、下野薬師寺跡等で配布する散策マップの作成、来街者の地域内観光を支援するための調査を実施し、地域及び周辺の散策型観光の環境づくりを推進する。</p>	<p>・地域生活基盤施設(基幹事業/案内板) ・事業活用調査(提案事業/事業効果分析) ・まちづくり活動推進事業(提案事業/散策型観光支援事業)</p>
<p>整備方針③(地域内相互交流と地域防災のための拠点づくり)</p> <p>地域住民の防災意識向上のためには、地域住民相互交流やコミュニティ活動を通じた取り組みが重要であり、さらに消防団や自主防災組織の育成を図るためには、拠点となる施設整備が必要になることから、地域交流センターと消防器具置場(防災倉庫)の整備を図る。</p> <p>1)地域住民の相互交流及びコミュニティ活動を支援するとともに案内や清掃等のボランティアを育成するなど、健やかな暮らしを営み良好なコミュニティの形成を促すために、地域交流及びボランティア育成の拠点となる新たな施設(地域交流センター)の整備を図る。 2)消防団や自主防災組織の育成を図るため、拠点となる施設(地域交流センター)と消防器具置場(防災倉庫)の整備を図る。</p>	<p>・高次都市施設(基幹事業/地域交流センター整備事業) ・地域生活基盤施設(基幹事業/薬師寺地区緑地広場) ・関連事業(消防器具置場整備)</p>
<p>その他</p> <p>○事業の熟度 ・新市合併から6年が経過し、市街地部・市街地郊外や各地域のバランスに配慮した都市づくりを実施しているところであり、本地区の公園整備は地域活性化のステージとして、地域住民の期待が高まってきている。 特に、道の駅しもつけの利用者を地域内へ誘導することで、一層の地域振興につながる事が望まれている。 また、近年、次世代を担う子どもの教育の充実や市民の生涯学習への意欲が高まっていることから、古墳活用を図る本事業の熟度も高まっている。</p> <p>○継続的なまちづくり活動の推進 ・自治会や近隣小中学校等による史跡周辺等での美化活動などをサポートすることで、環境保全を継続的に実施する。 ・市民や地元企業等の参画と協働による事業推進により郷土への愛着を育み、交付期間終了後も自主的なまちづくりで賑わう地域として持続させたい。</p>	

都市再生整備計画の区域

三王山・薬師寺周辺地区(栃木県下野市)	面積	622.6 ha	区域	下野市三王山・薬師寺周辺
---------------------	----	----------	----	--------------

